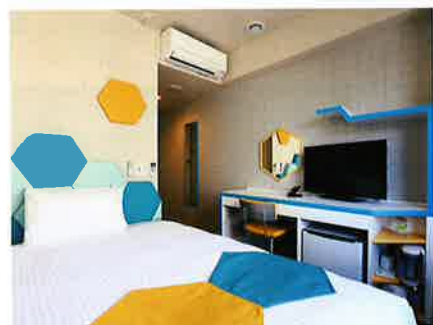


# ラグビーの精神「One for all, All for one」を胸に 東大阪コンシェルジュとして、寄り添っていく



「ホテルウィングインターナショナルセレクト東大阪」のフロントロビー。「産業アートホテル」らしく、ポップな色調にラグビーを思わせる幾何学模様を取り入れた



3階「シングルルーム」。全客室には地元企業にゆかりのある内装備品やデザインを採用している



ラグビー場をモチーフにした2、5、8階の「ツインルーム」



ラグビー場をテーマにした8階のエレベーターフロア。競技場と同じシートを配した粋な演出



目にも楽しい豊富な朝食ブッフェ。時間が許す限り、何度も行き来する人も多くおいしいと評判



ラグビーボールを模したデザインが特徴的なホテル外観

大阪・東大阪市と言えば、町工場と高校ラグビーの聖地「花園ラグビー場」の町。そのイメージを、全館に盛り込んだ「ホテルウィングインターナショナルセレクト東大阪」が開業して5カ月。現在までの平均稼働率は81%、ADRは約7300円と好調だ。

地下鉄中央線「長田駅」徒歩1分、「東大阪JCT」から約2分、さらにホテル至近の高速バス乗り場からは京都や名古屋、関西空港行きが往来するなどの好立地。にもかかわらず、意外にもこの町にはホテルが少なかった。そこで、ラグビーやものづくりの要素をデザインコンセプトにした「産業アートホテル」として、「住む人・訪れる人・働く人に寄り添いながら町を盛り上げていく」として誕生した。

小林与志朗支配人によると、これまでこの地の来訪者の多くは数駅先の奈良県か、なんばや梅田などの中心地に宿泊していたという。「進化し続けるものづくりの町に世界中から訪れるビジネスマン、そしてラグビー関係者という需要に応えながら、その町の魅力をスタッフ一人一人がコンシェルジュとなって伝えていきたいと日々奮闘中です」。

直営レストラン「うまいもの処ゆめぜん」の朝食ブッフェでは、和・洋40種以上を提供。メニューには、たこ焼きや肉吸いといった「大阪らしさ」も取り入れ、食を通じて「滞在の楽しさ」も訴求している。また、宿泊者以外も利用できるディナータイムでは、「オトコメシ」をテーマにスタミナ料理や全国の銘酒などで、地元民の胃袋もつかみつたある。

小林支配人は「One for all, All for one」の精神で、全館一丸となり、ひと味違うホテル・レストランステイを提供していきたい」という。

(取材・本誌 森下智美)

小林与志朗支配人。「全スタッフが東大阪コンシェルジュというスタンス。常に近隣散策は欠かせません」



## DATA

http://www.hotelwing.co.jp/select/higashiosaka/ //住所=〒577-0012 大阪府東大阪市長田東2-1-2 / ☎06(7709)9088 / 開業=2017年11月15日 / アクセス=地下鉄中央線「長田駅」3番出口徒歩1分ほか / 構造=地上8階 / 面積=敷地約766㎡、建物約399㎡、延べ床面積約3172㎡ / 客室数=全132室(シングル67室・14㎡、ツイン20室・18㎡、ダブル44室・15㎡、ユニバーサル1室・19㎡) / 付帯施設=大浴場、コインランドリー、喫煙ルーム、レストラン「うまいもの処ゆめぜん」 / メインターゲット=ビジネスマン、観光客 / 初年度売り上げ目標=3億円 / 初年度稼働率=80% / 運営=(株)フォース